講習の名称：映像メディア・ワークショップ
担当講師：茂木一司（教育学部教授）
講習開講日：平成 28 年 8 月 17 日（水）
時間数：６時間

主な受講対象者：（幼児教育を含む）造形・図工及び美術担当の教諭。ワークショップもしくは映像メディア表現に興味がある者（表現技術は不要）。

キーワード：美術教育、映像メディア、ワークショップ、アニメーション、ムービー製作。

講習の概要：
　美術教育分野の「映像メディア」をワークショップ（参加協同型学習）で学びます。広義の美術教育を個人ではなく､協同の表現で学ぶことによって、21 世紀型スキル等の「新しい学力観」を実践的に学びます。ワークショップで今までの自己の教育観をふり返り、ショートムービーの制作を通して、「映像メディア」表現の特質を理解しながら、現代社会に必要なメディアによる批評と表現＝「メディアリテラシー」を学ぶことを目的とします。（教育学部パソコン教室を使用）

講習の展開：
　第１時限　　【講義】映像メディア時代の（美術）教育はどうあるべきか？多元的共生社会における協同と表現の学びを考える。
　第２時限　　【ワークショップ】自己の教育のふり返り、今後必要な教育観を確認する
　第３時限　　【ワークショップ】ショートムービー（逆転時間ワークショップ）の演習
　第４時限　　リフレクションとまとめ

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：
　映像制作には技術は不要ですが、映像メディアやメディアリテラシーに興味がある人が望ましい。テキストとして、［茂木一司代表編集『協同と表現のワークショップ　第2版』東信堂、2014］を使用するので、受講者は持参すること。

授業の形式：講義とワークショップ

履修認定試験：
ワークショップでの作品提出（発表）とそのリフレクション及び論述形式の筆記試験（ノートと配付資料は持ち込み可）。講義とワークショップを通して受講者が現代の（美術）教育の問題について，どのように考察を深めたかを問いたい。
テキスト：茂木一司代表編集『協同と表現のワークショップ　第２版』東信堂、2014
参考文献：茂木一司他編集『美術科教育の基礎知識　第４版』建帛社、2010
　　苅宿俊文他編著『ワークショップと学び２　場づくりとしての学び』（共著、東京大学出版会、2012）